

学校名 熊谷市立中条中学校
所在地 熊谷市今井539-1
電話 048-521-3092

1 本校の概要

本校は、全校生徒86名の小規模校である。学校教育目標「きき合い支え合い学び合い 心豊かにたくましく」を掲げ、少人数指導・学び合い学習に力を入れている。

図書室は、規準数を満たしてはいるが、古い本が多く、なっている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書量・読書の質の向上

(2) 実践の概要

ア 朝の読書タイム

8:10～8:25の間、金曜日を除く毎日行っている。この時間は、全員が静かに読書に取り組み、成果をあげている。

イ 図書室の開室

毎日昼休みに開室し、貸し出し等を行っている。図書室の位置は少し離れているが、「不便はない」という生徒がほとんどである。

ウ 中条中50冊の本

学校独自のおすすめの本「中条中50冊の本」を制定し、各教室に本を設置し推薦図書としている。これは、かなり前に定められたものであるが、あえて変更せず、「大人が中学生に読んで欲しい本」として推奨している。

エ 「読書月間」の取組

年に1回図書委員が中心となって「読書月間」の取組を行っている。その概要は次の通りである。

・ 学年ごとの「読書集会」

学年朝会を活用し、「読書集会」を行う。この集会では、図書委員から「読書月間」の趣旨と取組内容を説明すると共に、学年の先生方全員による「お薦めの本」の講話を聞く。このことによって、読書の幅を広げ、読書の質をあげるねらいがある。

- ・ 読書に関するアンケートの実施
年に1回、読書に関する意識調査や図書室の利用状況、図書室への要望等のアンケート調査を実施する。
- ・ 生徒全員による「お薦めの本紹介」の作成
全校生徒が自分のお薦めの本を絵と文章で紹介する。
- ・ 「多読賞」の表彰（読書カードによる）
各学年で今年度最も多く本を読んだ生徒、通算で最も多く「中条中50冊の本」を読んだ生徒、今年度一人平均で一番多く本を読んだクラスの3つの表彰を設けている。
- ・ 図書委員会による生徒集会（12月）
「読書月間」のしめくくりとして、図書委員会による生徒集会を行い、アンケート結果の発表や「お薦めの本紹介」、表彰などを行う。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 学年が上がるにつれて読書好きの生徒が増えている。
- ・ 「お薦めの本紹介」やアンケート、読書カードの記録に全校生徒が取り組み、興味・関心を持つことができた。

(2) 課題

- ・ 読書量の多い生徒と少ない生徒の差をうめること。
- ・ 読書の質をあげること。

(3) おわりに

今後も、授業やその他の時間で積極的に図書室を活用すると共に、生徒の読書量の増加と質の向上につながるよう根気よく活動が続けていきたい。まずは、いろいろなジャンルの本をたくさん読むことからはじめ、さらに質の向上へとつなげたい。